

技能評価システム移転促進(SESPP)事業

事業実施報告書【タイ】

- ◆2017 年 11 月 13 日(月)～17 日(金)
- ◆タイ王国 サムットプラカーン県 AHRDA
- ◆シーケンス制御2級 技能評価者講習(Sat)・技能評価トライアル(SET)

平成 29 年 12 月

1. 事業の全体概要

(実施期間) 平成 29 年(2017 年)11 月 13 日(月)～17 日(金)

①技能評価者講習 (11/13-15) ②技能評価トライアル (11/16-17)

(実施場所) タイ王国 Automotive Human Resource Development Academy (AHRDA)

(職 種) シーケンス制御2級 技能評価者講習・技能評価トライアル

(講 師) 安田 成彦氏・島 伸次氏

(受講者数) ①技能評価者講習 10 名 ②技能評価トライアル受検者 6 名

(実施日程)

日時	活動名(指導内容)	
11 月 13 日(月) 8:30～16:30 【評価者講習】	・開講式 ・事務局より SESPP 事業の概要、日本の技能検定制度について ・講師 2 名より評価者の心得・役割について(安田講師) ・課題(シーケンス回路)の解説 (島講師) ・参加者の課題作業・完成	(開講式挨拶) ・在タイ大使館 ・所長
11 月 14 日(火) 8:30～16:30 【評価者講習】	・前日に続き課題作業	・精度を向上させた
11 月 15 日(水) 8:30～16:30 【評価者講習】	・課題動作の解説(前日までとは違う年度のもの) ・参加者の課題作業・完成 ・課題(シーケンス回路)の解説 (島講師)	・厚労省増岡室長補佐到着 挨拶
11 月 16 日(木) 8:30～16:30 【プレ技能評価 トライアル】	・実技試験作業(約 2 時間 20 分) ・スキル別に個別指導、7セグ表示の全体指導 ・検定問題作成委員の見学。質問が多数あったため対応(島講師・安田講師) ・プリ競技トライアル評価、解説	
11 月 17 日(金) 8:30～16:30 【技能評価トラ イアル】	・アセッサーによる準備・打合せ ・事務局よりオープニングスピーチ ・チーフアセッサーによる競技説明後、競技会開始 ・採点、結果発表 ・講評(安田講師、島講師) ・証書授与 ・ラップアップミーティング、懇親会	・4 名が標準時間内で完成、2 名 が延長で完成



開講式後、全員で集合写真



演習の様子



トライアルの様子

2. 総評

◆参加者について

SAT の参加者 10 名の内、4 名は 8 月に行ったシーケンス 2 級 SAT の参加者で、民間から参加した 1 名は OMRON からの参加者であった。SAT 参加者は非常にモチベーションが高く、タイのシーケンス検査を牽引するメンバーであると思われる。

◆翻訳について

今回の評価者講習中にトライアル本番で使用する課題の一部の翻訳に間違いがあることが発覚したため、微調整に時間を割くこととなった。既にある日本語の課題を翻訳する場合、作成者の意図を明確に把握できていないと文字通りの翻訳となり、意味をなさないことがある。シーケンス制御では特にそこで意味が通っていないと、プログラミング言語に変換ができず、問題となる。シーケンス制御は職種の特性として文章の作成者や課題の意図を明確に解釈し、翻訳することが非常に重要だということを今回の研修を通して身を持って学んだ。今後のシーケンス制御の研修の教科書等資料を翻訳する際には、専門家から具体的な注意点などを事前に聞き、翻訳会社への指示をすることで翻訳の問題を回避したいと思う。

◆受講者からの意見

- ・評価者講習の中でロールプレイをやってみたい。
- ・組み込みシステム、プログラミングの技能評価者講習を実施してほしい。
- ・マイクロコントローラーとプログラミングについても研修をやってもらいたい。